

「おいしさは、やさしさ」を理念に、UHA味覚糖グループで2030年に売上1,000億円、
味覚糖（株）として単体売上目標620億円（直近決算期比197.3%）を実現

長期成長ビジョン（目指す姿・ビジネスモデル）

理念に基づき、H&B市場、グローバル市場への展開を図る

おいしさは、やさしさ：H&B市場への展開

おいしいものは、カラダにいい。カラダにいいものはおいしい。

健康・美容に対する意識の高まりを受け、おいさと栄養を両立させた商品開発を推し進めていく。

UHA（ユニーク・ヒューマン・アドベンチャー）＝『遊波』：グローバル展開

食べることを通じて、多くの人が大きな夢を心に抱き、快適で健全な生活を送ること。楽しみ、遊び、ときには人を精神的に、肉体的に向上・リラックスさせる"食"の創造。そんな食で遊ぶ『遊食』を社会に提供することで、味覚糖から『遊』の『波』を広げたい。より良い商品をより安く、お客さまに届けることが私たちの社会貢献。

グループおよび味覚糖（株）単体売上目標

好調なグミキャンディなどの製菓に加え、グミサプリなどの健康食品（H&B）領域にも力を入れることで、81期にUHA味覚糖グループ※で1,000億円、
味覚糖（株）で620億円の達成を目指す。

※ UHA味覚糖グループ：味覚糖（株）、UHA味覚糖（株）、UHA（株）、UHAビピン（株）

味覚糖（株）全体の売上成長目標（直近事業年度～2030年9月）

売上高成長率197.3%

売上高増加額305.8億円（75期314.2億→81期620億）

味覚糖（株）会社全体の賃上げ目標 ※

0.57%（直近事業年度～基準年度）

6.08%（基準年度～事業化報告3年目）

※ 一人当たり給与支給総額上昇率

外発的動機

外的変化と外的リスクに対する対応力強化が不可欠

- ・長期的な日本の人口の減少トレンド（消費量・消費額の減少）
- ・日本の長高齢化社会の進展と健康寿命延伸への課題（食の安全・安心）
- ・ライフスタイル変化（共働き、利便性追求、完全栄養食ニーズの高まり）
- ・生産拠点の一極集中リスクの回避（BCP要請）
- ・食のエンタメ化（体験型ニーズ、SNS映えを意識した消費者行動）
- ・食文化のボーダレス化（輸出、現地生産などの即時対応ニーズ）

様々な課題がありつつも、独創的で冒険心溢れたマインドで、革新的な商品を生み出し持続的な企業成長を目指したい。

内発的動機

理念「おいしさは、やさしさ」の元、食の領域で新しい波を起こし続けるのは私たちの変わることのない使命

当社は、1949年の創業以来お客さまが求めるものを提供する「マーケティング志向」を大事にしてきた。また、「健康は食べ物作り上げるもの」であり、お菓子はその中で補助的な役割を果たすものと考えている。

設立当初はカロリーが欠乏している時代で、栄養価の高いものを提供するため主に飴を製造したが、世の中の変化にあわせてガムやグミ、サプリメントなど次々と商品を生み出してきた。

当社は、これからも変わることなく、世の中のアコがれや必要なものを提供する会社であり続けたい。

お菓子というカテゴリーに留まることなく、サプリメントや機能性食品など、より身体に良いもの、健康・美容を支えるものを世界中のお客様に一人でも多く届けていく。

2.補助事業の概要

福島県に既存ライン150%の生産効率を誇る第2工場を新設、奈良工場の排水処理能力を強化し
好調なグミを中心とした生産増強を実現、**関東・関西 2 拠点の製造ライン最適化で高効率生産を実現**

補助事業の
背景・目的

今回の補助事業は好調な国内グミ市場に対応するため、BCPの観点からも福島県に大規模な製造工場を建設する。加えてマザー工場である奈良工場でボトルネック解消を図ることで生産増強を図り、今後市場の拡大する米国市場へ輸出する商品の生産体制を強化する。

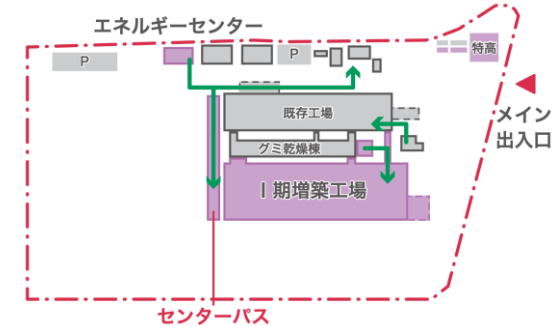
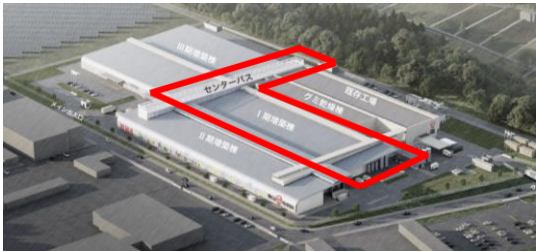
事業費
(補助額)

117億円
(39億円)

設備投資の
内容

<投資内容と生産効率化ポイント>
新設の福島第2工場は、原材料の自動溶解など作業効率化、グミ成形にける充填効率の向上、乾燥工程の能力アップ、搬送作業のAGV化等により、必要労働員数50%減、既存ラインの150%生産効率アップを実現する。
奈良工場は、ライン新設および既存ライン改修による生産増に対応するため、排水処理能力を150%に増強。これにより189億円の生産能力増を確保。
関東・関西 2 拠点の製品構成の最適化により全社で効率性向上を実現。

投資項目	投資額	概要
福島第2工場建設費	54.6億円	本事業を実施する新工場建設費
福島第1工場拡張工事	2.0億円	既存工場の拡張工事
福島グミ製造設備	53.5億円	グミの製造・梱包搬送装置ほか
奈良工場排水処理設備	5.7億円	生産拡大に対応した排水処理の増強
合計	115.8億円	



上:福島工場最終完成図／下:本投資対象エリア（紫色）

目標値

項目	2027年度 (基準年度)	2030年度 (基準年度 + 3 年後)
労働生産性 (単位：万円/人)	1,331	2,306 (年平均上昇率+ 20.1%)
従業員1人あたり給与支給総額 (単位：万円/人)	472	566 (年平均上昇率+ 6.3%)
役員1人あたり給与支給総額 (単位：万円/人)	-	-
補助事業に係る従業員数 (単位：人)	638	742